

\$\$明星(白川小だより)\$\$

HPで『白川小だより』
をご覧ください。
白川小学校で検索を!

令和2年1月14日発行
第48号
文責:三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

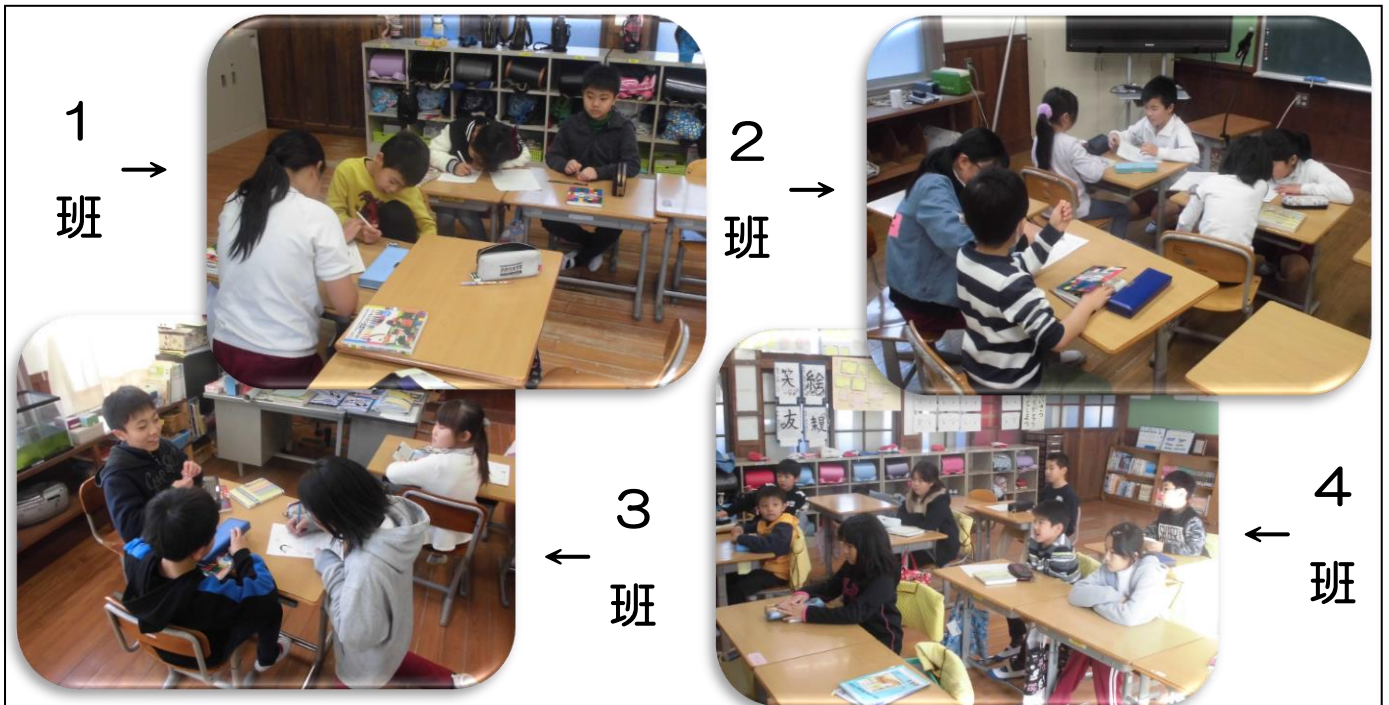
\$ 子どもたちの作品を展示 \$ ←1月17日(金)～20日(月):体育館

「亀山市美術展開催」:市内小学校からの入選作品を体育館で展示します。力作ばかりの作品ですので、来校の際にはぜひ一度ご覧ください。なお、18日は土授業となりますので、体育館に展示してあります。



\$ もちつき集会へ準備 Start \$ ←1月10日(金)

18日(土)に向けての準備が始まりました。日頃、田植えやさつまいも育成、炭焼き、FBC花壇等にお世話になっている地域の方をたくさんお招きしてもちつき集会が行われます。なかよし班会議で、高学年と低学年がペアになってお招きする地域の方への感謝の気持ちを込めて、準備物等の作成をしました。高学年の子どもが低学年の子どもたちに優しく教えて準備物等の作成をしました。子どもたちも楽しみにしていますので、当日の来校をお待ちしています。



\$ 美味しい給食が始まりました \$ ←1月9日(木)～

3学期の給食が始まりました。初日のメニューは子どもたちが好きなシーフードカレーとフルーツミックスでした。お正月にはお餅やおせち(裏面参照)、七草がゆ等を食べて久しぶりの給食ということで、ご飯を増やしている子どももいました。先週金曜日(10日)は、おせちと雑煮がメニューとして出ました。



＄ 4 2 4 時間 (53 日×8 時間) を大切に！！＄

9日（木）から教科授業が始まりました。それぞれの学年で2学期の復習から始まっています。そこで、18日（土）の百人一首大会に向けて練習にも取り組んでいます。1年生の子どもたちも上の句が読まれている途中で下の句を思い出して、札を探している姿があり、子どもたちの記憶力には驚かせられました。また、2年生では、計算の基礎基本である九九のそれぞれの段を確認して、確かな力としていました。



=白川小コラム=

お正月におせちを食べた子どもの多いかと思えます。お正月にはおせち料理と言われますが、おせち料理にはどういう意味があるのか考えてみたいと思えます。

おせち料理とは??

おせち料理の始まりは、節（＝五節句）といわれる季節の変わり目ごとに、豊作を感謝して神様にお供え物をした「節供」に由来しています。お供え物として作物で作った料理が、おせち料理の始まりとされています。そして、それぞれの料理には意味があります。

五節句とは？

五節句の「節」とは、もともとは中国の唐の時代に暦法で定められた季節の変わり目で、邪気を払う日でした。日本では人日（じんじつ）1/7、上巳（じょうし）3/3、端午（たんご）5/5、七夕（しちせき）7/7、重陽（ちょうよう）9/9という節日に、邪気を払う宴会が宮中で催されるようになり、五節句と呼ばれるようになりました。

食材・料理	意味
黒豆	邪気を払い、勤勉に働くことや健康で丈夫に過ごせることを願う。
数の子	ニシンの卵である数の子は数が多いことから子孫繁栄を願う。
田作り	片ロイワシを撒いて豊作となった田畑があったことから、五穀豊穣を願う。
紅白かまぼこ	半月かまぼこは日の出を表す。赤は慶び、白は神聖の意味を持つ。
昆布巻	「喜ぶ」にかけて縁起をかつぎ、健康長寿を願う。
伊達巻	しゃれた身なりの伊達者にカステラかまぼこが似ていたことに由来。書が巻物にされていたことから、知識が増えることを願う。
栗きんとん	黄金色をしていることから財宝にたとえられ、金運を呼ぶ。
煮しめ	土の中で根を張る根菜が中心で、末永い幸せを願う。